



## 医療法人社団 高村歯科医院

東京都港区虎ノ門5-11-12 虎ノ門ACT(アクト)ビル2F  
TEL.03-5777-6866 FAX.03-5777-6867  
<http://www.takamura-shika.net/>

# 充実の設備と最先端医療の習得、患者さんとの対話で最高の歯科治療を提供

対談 理事長 高村剛 × インタビュアー(伊集) 萩原 流行

萩原 口腔外科治療及び高度先進歯科医療を得意分野とされている高村歯科医院さんの高村理事長にお話を伺ってまいります。まずは本日に至るまでの経緯からお聞かせ願いたいのですが、以前は北海道で歯科医院を聞いておられたとのこと、とてもとこ出身はどちらになるのでしょうか。

高村 父は茨城県水戸市、母は北海道札幌市の出身で、父が水戸市で歯科医院を開業している頃に私は生まれました。その後母の故郷である札幌に移り住むことになって、歯科医院を移転したため、私は小学校から

札幌で過ごすことになり、そして北海道医療大学歯学部を卒業して第一口腔外科の医局で一年間働いた後、平成五年(1993年)月に札幌市中央区の中心部で医療法人社団飛天会(たかむら)から歯科を開設した次第です。

高村 当初から誰よりも早く開業したいという思いを持っていましたが、当時、二十五歳という開業年齢は日本の歯科医の中では一番若かったですね。

萩原 思いだけではなく、それだけの実力を備えておられたからこそ成し得たことだと思います。では、それから東京に移られたのはどんなきっかけがあったのですか。

高村 一九九歳の時に札幌市内に歯科医院をもう一軒分院として構えるなど順調に歩んでいたのでしたが、私が専門としているインプラントに関して共に勉強していた先輩が東京で開業したという話を聞き、後学のためにと見学させて頂いたところ、その素晴らしい医療環境に衝撃を受けました。札幌と比べて東京では患者さんの考え方もその背景も全く異なり、「私が目指している高

村 父は茨城県水戸市、母は北海道札幌市の出身で、父が水戸市で歯科医院を開業している頃に私は生まれました。その後母の故郷である札幌に移り住むことになって、歯科医院を移転したため、私は小学校から

高村 父は茨城県水戸市、母は北海道札幌市の出身で、父が水戸市で歯科医院を開業している頃に私は生まれました。その後母の故郷である札幌に移り住むことになって、歯科医院を移転したため、私は小学校から



位置しており、そのポリシーを實踐しています。更に大学病院歯科医師を指導しているインプラントセラフ・アクトクリニックとの密な連携関係を築いていまして、その時々で考えうる最高の歯科治療をご提供することができます。

萩原 ひと言でインプラントと言っても、歯科医院によって技術の差が大きく現れてくるのですね。

高村 インプラントは日本において二十年ほどの歴史しかなく、保険外診療で高価治療となるため、まだ一般的なものにはなっていない。まして、国民健康保険制度がないアメリカでは五十年前から他の治療と同じように行なわれてきました。また、通常第一に五十人程度の患者さんの治療しか実施しないのです。私どもでは常に最先端の医療技術

度先進歯科医療を實踐していくために、「村」東京でも中心となる港区で歯科医院を構えたいと更なるステップアップを強く意識し始めたのです。幸い父も東京に行くことを快く応じてくれましたので、札幌市内の二つの歯科医院は譲渡し、平成十六年十月に医療法人社団高村歯科医院として新たにスタートすることになりました。

萩原 お話前後して恐縮ですが、お父様が歯科医院を開業されている環境で育たれた理事長は、やはり自然と歯科医を志すようになられたのでしょうか。



保険診療を中心に多数の患者数を診療する歯科医院が多い中、保険枠に捕らわれずカウンセリングを重視しながら常にハイクオリティーの治療を実践する高村歯科医院の高村剛理事長。特にインプラント治療の高い技術力には定評があり、「患者さんにとって安全で高度な医療をご提供するためには最先端の技術と設備が必要」と最新医療の勉強会に積極的に参加、設備の充実に力を注ぐ。患者さんに納得してもらえる治療に取り組む高村理事長の姿勢から、今後の日本の歯科医療のあり方を探ってみたい。

INTERVIEW TUYOSHI TAKAMURA x NAGARE HAGIWARA



最新設備で安心・安全な体制

高村 ところで、インプラントの技術の医療によつて様々であると同時に料金の面でも差があると聞きますが、

高村 インターネットなどで情報も氾濫していますが、最近ではインプラント治療を原価でこいつた誰い文句を掲げているところもあるようです。医療の料金には原価だけでなく、その技術を習得した青葉や医師としてのキャリアが含まれるべきであつて、このような激安を謳うような治療は患者さんに対する責任感が感じられずとても残念に思います。ちよつとした消耗品と違って医療は安から悪からという許されぬものでもありませんから、トラブルに巻き込まれないためにも患者さん側でしっかりと見極めてから治療を受けて頂くことをお勧めします。

高村 料金の違いにはそれ相応の事情があるのですよね。ところで、技術の向上と安全性について日頃どのような取り組みをされているのですか。

高村 最先端医療に関する勉強会に積極的に参加し、常に情報を広く集めて勉強を積み重ねています。また、適切な治療を行なうためには事前にしっかりとした診断をするのが重要になりましたので、設備投資にも力をかけています。中には一台で歯科医院が一軒開院できるほどの金額に上るものもございます(笑)。

高村 では、それらの機器類も含め院内の設備についてご紹介頂けますか。

高村 待合室にはモニターでの映像やビジネス誌がファッション誌まで幅広く取り揃えられた雑誌類をお待ち頂き、ウォーターサーバーも備えています。診察室は完全個室となつておりますので、患者さんのプライバシーを守りリラックスして頂ける、同時

に、常にクリーンな環境を保つものにも通じています。もちろん院内感染の予防には全力を尽くしております。

高村 別に別の患者さんが治療していると思つたままのりたり思つてくることも話せなくなりますので、完全個室というのはありがたいですね。

高村 手術室専用の診療室も備えており、手元に手術を安全に確実に行う四連ライフトなど、手が安全に確実に行うことができ、機器類を揃えています。また、インプラントを始めとする先進歯科医療は肉眼での診断が難しいとても繊細なものであるため、口腔内を拡大して正確に診察することができるマイクロスコープを使って精密な診断や治療をしています。更に歯科用CTスキャンを導入しており、通常のレントゲン撮影では二次元的な診断しかできませんが、CTでは三次元立体的にあらゆる角度から診ることが可能で、顎骨だけでなく神経や血管の位置も正確に捕らえることができ、より精度の高い治療の提供を実現しています。

高村 大学病院と見聞違うほどの充実した設備と言つても過言ではありません。

高村 インプラント治療を月に数名程度しか行なわれない歯科医院も多いと思いますが、そのくらいですとあまり専門的な設備投資はできません。私どもも常に週三、四名のインプラント治療をしていますので、設備投資も可能であり、最新の治療すぐに患者さんにフィードバックしていくことができれば幸いです。

高村 それとこちらは都舎会の中心で神谷町駅からわずか二十秒と好立地で、一階はカフェというビルルの二階にあり、エレベーターを降りるとガラス張りのおしゃれなエントランスに迎えられるといった雰囲気です。また、歯科医院に対する緊張感を感じることもなく足を運べます。診察時間についても教えてください。

高村 午前10時から午後一時、午後二時から八時、木曜は午後六時まで、土曜は特設日となっています。また、日曜と祝日、学会のある日は休止日です。

高村 これからも保険治療の枠に捕らわれることなく、常に最先端の医療を学びながら患者さんにとってベストな治療を様々な角度から探り、皆様に満足して頂ける治療をご提供していきたいと思つています。そして日本では「ハロ(○)運動」という「ハロ」で二本の歯を残そうという運動がありますが、歯の健康についての意識がもっと高まっていくよう微力ながら尽力していければ幸いです。

高村 患者さんと真摯に向かい合い、真の医療を全したいという理事長の心意気を感じられるお話をした。これからの歯科医療が大きく前進していくためにも更なる活躍を大いに期待しています。

高村 これからも保険治療の枠に捕らわれることなく、常に最先端の医療を学びながら患者さんにとってベストな治療を様々な角度から探り、皆様に満足して頂ける治療をご提供していきたいと思つています。そして日本では「ハロ(○)運動」という「ハロ」で二本の歯を残そうという運動がありますが、歯の健康についての意識がもっと高まっていくよう微力ながら尽力していければ幸いです。

高村 患者さんと真摯に向かい合い、真の医療を全したいという理事長の心意気を感じられるお話をした。これからの歯科医療が大きく前進していくためにも更なる活躍を大いに期待しています。

高村 これからも保険治療の枠に捕らわれることなく、常に最先端の医療を学びながら患者さんにとってベストな治療を様々な角度から探り、皆様に満足して頂ける治療をご提供していきたいと思つています。そして日本では「ハロ(○)運動」という「ハロ」で二本の歯を残そうという運動がありますが、歯の健康についての意識がもっと高まっていくよう微力ながら尽力していければ幸いです。

高村 これからも保険治療の枠に捕らわれることなく、常に最先端の医療を学びながら患者さんにとってベストな治療を様々な角度から探り、皆様に満足して頂ける治療をご提供していきたいと思つています。そして日本では「ハロ(○)運動」という「ハロ」で二本の歯を残そうという運動がありますが、歯の健康についての意識がもっと高まっていくよう微力ながら尽力していければ幸いです。

GINFORMATION



完全個室の診療室を完備